

令和5年（2023年）4月6日

地域の日本語教育環境の充実に向けた取り組み ～日本語教育者のスキルアップを目指し、岩手・秋田・山形が合同で講座を開講～

【本件のポイント】

- 日本語教育課程を有する本学、岩手大学、国際教養大学が連携し講座を開講し専門人材の養成・研修を行う。
- 令和4（2022）年2月に岩手県、秋田県、山形県の3県から7団体により締結した「なか東北連携」の協議会が実施。3県にある国際交流協会が人材として登録し、企業等からの照会に対応する。また、「なか東北連携」の協議会が修了者に対する情報提供を行い、人材のさらなるレベルアップをはかる。
- 令和4（2022）年5～11月に第1回が行われ、3県で31名が受講し29名（内、山形県は11名）が修了した。



【概要】

外国人労働者、留学生の増加にともない、質の保証された日本語教育を行うための体制づくりは急務であり、その専門人材の養成・研修が全国で行われています。常勤日本語教師の数が全国最下位の県では、専門人材の養成が喫緊の課題です。昨年度から実施している地域日本語教育専門人材養成講座の第2回を今年も5月から開講し、継続的に人材を育成していきます。同講座は、1年以上の日本語教授歴（地域の日本語教室含む）がある人や日本語教師養成講座修了生などを対象に行います。

【開催要項】

- 【期間】 オンライン講座〔60単位時間〕：令和5（2023）年5月20日（土）～8月9日（水）
対面実習〔16単位時間〕：令和5（2023）年8月下旬～9月（土曜開講）
オンライン実習〔16単位時間〕：令和5（2023）年11月1日（水）～12月20日（水）
※オンライン講座・実習は岩手県、秋田県、山形県の3県合同、対面実習は各県で実施
- 【定員】 各県10名（合計30名） 【受講料】 オンライン講座・実習：無料、対面実習：35,000円
- 【申込】 <https://www.y-ex.jp/extension/post-58.html> ※4月30日（日）締切
- ※詳細はフライヤーや募集要項をご覧ください。

【「岩手県・秋田県・山形県における地域日本語教育専門人材養成事業に関する連携協定」について】

令和4（2022）年2月に、岩手大学国際教育センター、国際教養大学専門職大学院グローバル・コミュニケーション研究科、山形大学学士課程基盤教育機構、公益財団法人岩手県国際交流協会、公益財団法人秋田県国際交流協会、山形市国際交流協会、特定非営利活動法人ヤマガタヤポニカの7者で締結した事業連携協定。令和4（2022）年に続き、令和5（2023）年5月から「地域日本語教育専門人材養成講座」を開講する予定。通称、なか東北連携。



【令和4年度「地域日本語教育専門人材養成講座」について】

・開催概要

[期間] 令和4(2022)年5月～9月

[内容] オンライン講座・実習：76単位時間 ・ 対面実習：約16単位時間
※合計 約92単位時間の講座を実施(1単位時間=45分)

※オンライン講座・実習は岩手県、秋田県、山形県の3県合同、対面実習は各県で実施

※オンライン講座・実習の内容は、文化審議会国語分科会(2019)「日本語教育人材の養成・研修の在り方について(報告)確定版」の「日本語教師【初任】研修」を参考とした。

[講師] 松岡洋子(岩手大学)、伊東祐郎・嶋ちはる(国際教養大学)

内海由美子・仁科浩美・今泉智子(山形大学)

[応募条件] ・日本語教育に関する経験があること ・オンライン受講が可能であること
・3県いずれかに在住し、講座修了後に地域日本語教育専門人材として活動する意思があること 等

[参加者数] 定員：各県10名(合計30名)

申込者数：71名から31名(うち日本語非母語話者は1名)を受講者として選定

[修了要件] ・80%以上の出席

・模擬授業を含めた実習の実施と課題の提出

[修了者数] 受講者31名のうち、対面実習に移行した者は29名(岩手県10名、秋田県8名、山形県11名)
対面実習に移行した受講者全員が修了

※11月20日にオンラインで3県合同の修了式を行い、修了証を授与。その後、各県・市の国際交流協会に、人材バンクへの登録を要請した。



オンライン講座の様子



対面実習の様子(山形大学)

講座終了後に実施したアンケートの結果、①オンラインという開催形態、②3県合同の開催形態、③講師が日本語教育専門で地域事情を知っていることの3点が高く評価されていました。このことから、外国人散在地域では日本語教育人材も散在しており、専門人材同士のつながりや、研修・情報交換の機会が求められていることがわかりました。

今後の日本語教育の活動についてアンケートを行ったところ、約93%が国際交流協会の人材バンク登録に同意、あるいは既に登録済みであり、70%が有償の仕事が可能であると回答したことから、一定数の人材を養成・確保できたのではないかと考えられます。また、日本語教育の活動形態については、60%が対面でもオンラインでもどちらでもよいと回答したことから、地域の地理や気候に即した教育活動が可能であるといえます。対象者について複数回答で聞いたところ、「だれでもよい」「外国人労働者」が多く、教育の質保証が求められる学習者に対する日本語教育が期待でき、地域の要請に応えようとする人材という点でも講座実施の効果が認められます。一方、日本語教育の活動範囲については、約60%が居住地かその周辺を希望しており、どの程度の範囲で人材養成を行えばいいのかが示唆されました。

お問い合わせ

学術研究院 教授 内海由美子(学士課程基盤教育院 主担当)

TEL: 023-628-4932 メール: yutsumi@kdw.kj.yamagata-u.ac.jp

本養成講座の目的は「地域日本語教育専門人材」の養成です。「地域日本語教育専門人材」とは、学習者のニーズ、接触場面と言語使用、学習者特性等を踏まえてコースデザイン、教授、評価ができる知識・技術・教育観を有する人材です。

地域に暮らす外国人に日本語を教える人材を養成します

地域日本語教育専門人材養成講座

令和5年度受講者募集（山形版）

講座概要

全92単位時間

(1単位時間=45分)

※修了認定や日程の詳細については募集要項をご覧ください。

オンライン講座

[60単位時間]

※岩手・秋田・山形の3県合同

5月20日～8月9日(水・土)

対面実習

[16単位時間]

※各県で実施

8月下旬～9月(土)

オンライン実習

[16単位時間]

※岩手・秋田・山形の3県合同

11月1日～12月20日(水)

講師

岩手大学

松岡 洋子

国際教養大学

伊東 祐郎

嶋 ちはる

山形大学

今泉 智子

内海由美子

仁科 浩美

定員

各県10名

※合計30名

※最少開講人数合計10名

受講料

オンライン講座・実習

無料 ※ただし、各自に書籍等の用意を
求めることがあります

対面実習

35,000円

※支払い方法等は後日通知します

参加申込・締切

以下のURLまたはQRコードから募集要項をご覧ください。

必ず応募条件を確認したうえで、フォームよりお申し込みください。

<https://www.y-ex.jp/extension/post-58.html>

応募締め切り:4月30日(日) ※5月10日頃までに受講の可否を通知します

※募集要項には、講座日程や担当講師などを掲載しております。必ずご確認くださいませようお願いします

※応募者多数の場合、また、応募条件の該当状況(研修受講歴・教授歴等)によっては、受講をお断りする場合があります

※受講者決定後に課題図書を読ませることがあります。また、講座の中で図書を指定することがあります。

その場合には、各自ご準備ください



問合せ

内海由美子 (山形大学学士課程基盤教育院)

yutsumi@kdw.kj.yamagata-u.ac.jp (件名に[R5なか東北]と書いてください)

この事業は、岩手大学国際教育センター、国際教養大学専門職大学院グローバル・コミュニケーション研究科、山形大学学士課程基盤教育機構、公益財団法人岩手県国際交流協会、公益財団法人秋田県国際交流協会、山形市国際交流協会、特定非営利活動法人ヤマカタヤボニカの7者での事業連携協定(「岩手県・秋田県・山形県における『なか東北連携』による地域日本語教育専門人材養成事業に関する連携協定」)に基づいて行われます。



なか東北
地域日本語教育
専門人材養成協議会



山形大学
Yamagata University

YEX

Yamagata University
Extension service
organization



【なか東北連携】地域日本語教育専門人材養成講座 令和5年度 募集要項 ＜山形版＞

地域に暮らす外国人に日本語を教える人材を養成します

1. 目的

本養成講座の目的は「地域日本語教育専門人材」の養成です。「地域日本語教育専門人材」とは、学習者のニーズ、接触場面と言語使用、学習者特性等を踏まえてコースデザイン、教授、評価ができる知識・技術・教育観を有する人材です。具体的には次を目標として講座を実施します。

- ・文法のみならず、地域社会での生活に必要な知識・地域事情を取り入れた、行動中心の教育を行うことができる。
- ・外国人が持つ言語・文化を尊重しながら、地域社会で日本語によるコミュニケーション能力を高める教育を行うことができる。
- ・受入れ住民（日本人）に対し、外国人とのコミュニケーションスキル・意識向上に働きかける教育を行うことができる。

2. 概要

本養成講座は、「オンライン講座」「オンライン実習」76単位時間、「対面実習」16単位時間、合計で92単位時間から構成されます。（1単位時間=45分）

・「オンライン講座」「オンライン実習」は岩手県、秋田県、山形県の合同で、「対面実習」は各県別に行います。

・「オンライン講座」の修了認定を受けた受講者は、「対面実習」「オンライン実習」に進むことができます。

・「オンライン講座」「対面実習」「オンライン実習」を2年以内に修了した受講者には、修了証を発行するとともに、山形市国際交流協会など県内にある国際交流協会等の人材バンクに登録します。希望者は、日本語教師集団である「特定非営利活動法人ヤマガタヤポニカ」に加入できます。

*オンライン講座・実習の内容は、文化審議会国語分科会（2019）「日本語教育人材の養成・研修の在り方について（報告）確定版」の「日本語教師【初任】研修」を参考にしています。

3. 講師

松岡洋子（岩手大学）、伊東祐郎（国際教養大学）、嶋ちはる（国際教養大学）、内海由美子（山形大学）、仁科浩美（山形大学）、今泉智子（山形大学）

4. 日程

● オンライン講座

5月20日	土	9:00-9:30	オリエンテーション
第1クール 基礎編(20単位時間)			
5月20日	土	9:30-11:00	国・地域の在留外国人施策
		11:10-12:40	「生活者としての外国人」に対する日本語教育
5月24日	水	19:00-20:30	「生活者としての外国人」の多様性①
5月31日	水	19:00-20:30	「生活者としての外国人」の多様性②
6月3日	土	9:00-10:30	言語サービス①
		10:40-12:10	言語サービス②
6月7日	水	19:00-20:30	「生活者」のライフステージに合わせたキャリアプランと日本語学習①②
6月14日	水	19:00-20:30	
6月17日	土	9:00-10:30	初級文型と使用場面
		10:40-12:10	
第2クール「学習者を知る」編(16単位時間)			
6月21日	水	19:00-20:30	学習方法
6月24日	土	9:00-10:30	ライフステージに合わせたキャリアプランと社会参加
		10:40-12:10	「生活者としての外国人」の異文化受容と適応
6月28日	水	19:00-20:30	インタビュー分析の概要
7月1日	土	9:00-10:30	インタビュー分析の実際①
		10:40-12:10	インタビュー分析の実際②
7月5日	水	19:00-20:30	インタビュー分析の実際③
7月12日	水	19:00-20:30	就労現場でのやりとりの分析
第3クール 実践編(24単位時間)			
7月15日	土	9:00-10:30	コースデザイン演習①
		10:40-12:10	同②
7月19日	水	19:00-20:30	同③
7月22日	土	9:00-10:30	日本語能力の評価①
		10:40-12:10	日本語能力の評価②
7月26日	水	19:00-20:30	各種指導法・教授法① 初級の授業の流れ
7月29日	土	9:00-10:30	同② 教室活動
		10:40-12:10	同③ 教案の書き方
8月2日	水	19:00-20:30	同④ 書き起こした教案を使っでの模擬授業
8月5日	土	9:00-10:30	「生活者としての外国人」のための教材・教具のリソース ① 教科書分析
		10:40-12:10	同② 教案の書き方
8月9日	水	19:00-20:30	同③ 活動のデザイン

● 対面実習（16単位時間）8月下旬～9月の土曜日に山形県内で実施予定。

● オンライン実習（16単位時間）

オンライン実習（16単位時間）			
11月1日	水	19:00-20:30	コースデザイン演習④ オンライン授業の教材・教具
11月8日	水	19:00-20:30	教材・教具のリソース④ 教案作成
11月15日	水	19:00-20:30	各種指導法・教授法⑤ 教案検討
11月22日	水	19:00-20:30	コースデザイン演習⑤ リハーサル
11月29日	水	19:00-20:30	コースデザイン演習⑥ 模擬授業
12月6日	水	19:00-20:30	コースデザイン演習⑦ 模擬授業
12月13日	水	19:00-20:30	指導力の評価① 模擬授業
12月20日	水	19:00-20:30	指導力の評価②

● 修了式（オンライン）

12月23日（土）10:00-11:00

5. 受講料

オンライン講座・実習：無料（ただし、各自に書籍等の用意を求めています）

対面実習：35,000円（振込口座等は後日通知）

6. 応募条件

①～⑤の全てに該当すること。ただし、①はa～dのいずれかでよい。

①（a～dのいずれかに該当すること）

a. 1年以上の日本語教授歴（地域の日本語教室含む）がある人

b. 日本語教師養成講座、あるいは大学・大学院の日本語教育課程（主専攻・副専攻）に在籍または修了している人

c. 日本語教育能力検定試験を受験した人

d. 複数日にわたる日本語ボランティア養成・研修、日本語学習支援者養成・研修の受講歴がある人

*判断に迷う際はお気軽にご相談ください。

② コンピュータ（カメラ・マイク付き）とインターネット環境があり、コンピュータでZoom参加できる人

③ 山形県に在住している人

④ 修了後に地域日本語教育専門人材として山形県で活動する意思がある人

⑤ 原則として、全ての講座がリアルタイムで受講できる人

7. 受講決定までの流れ

応募締め切り：4月30日（日）

受講可否の通知：5月10日ごろまでに通知します。

*応募者多数の場合、また、応募条件の該当状況(研修受講歴・教授歴等)によっては、受講をお断りする場合があります。

*受講者決定後に課題図書を読することがあります。また、講座の中で図書を指定することがあります。その場合には、各自ご準備ください。

8. 定員

各県10人合計30人(最少開講人数合計10人)

9. 申し込み

次のURLまたはQRコードから申し込みフォームにアクセスしてください。

<https://forms.gle/dhCFjGtiKrHBxRf88>



10. 問い合わせ先

内海由美子(山形大学学士課程基盤教育院)

yutsumi@kdw.kj.yamagata-u.ac.jp (件名に【なか東北】と書いてください)

この事業は、岩手大学国際教育センター、国際教養大学専門職大学院グローバル・コミュニケーション研究科、山形大学学士課程基盤教育機構、公益財団法人岩手県国際交流協会、公益財団法人秋田県国際交流協会、山形市国際交流協会、特定非営利活動法人ヤマガタヤポニカの7者による事業連携協定「岩手県・秋田県・山形県における『なか東北連携』による地域日本語教育専門人材養成事業に関する連携協定」に基づいて行われます。

